

男女がともに 輝くために

共に輝くみほの会
—美浦村女性行政推進協議会—

問合せ 企画財政課
☎029-885-0340(内)209

故堀越靖子先生を 偲んで

市川昭子

6月10日は、梅雨晴れの空が澄んだ一日でした。

その日、美浦村女性行政推進協議会の初代会長、堀越靖子先生(満90歳)が旅立たれました。私は、教え子として、ボランティア活動を長い間一緒にさせていただいた一人として葬儀に参列させていただきました。

私は、今から60年以上前、英語の教師として木原中学校(現美浦中学校)に赴任された靖子先生に初めてお会いしました。先生の授業は楽しいと

評判で、生徒の多くが初めての外国語である『英語』に興味を持ちました。また、テニスも得意で、まだコートもなかった校庭に、生徒たちと汗を流し、手作りでコートを作られたこともありました。

その後、結婚された先生は美浦村の住民となられ、二人の娘さんの母として、働く女性として奮闘されました。大変な努力や苦勞もあったことと思います。「じっとしているところなんて見たことがない、とにかく動く人でした。教員としても、一生懸命頑張っていた姿を思い出します。」と娘さんは振り返っておられます。

先生は、退職された後も女性たちの先頭に立たれ、現在の「共に輝くみほの会—美浦村女性行政推進協議会—」や「美浦の女性活動を未来に繋ぐ会・結」を立ち上げました。

また「美浦村ボランティア連絡協議会」では、当時はまだあまり存在価値が認められていなかったボランティア活動でいち早くリーダーシップを発揮されました

社会教育活動では、子ども

たちが本に親しめる環境づくりに努め、「お話し会」を立ち上げました。

私たちは、普段は心優しく、時として厳しい先生と多くの経験を一緒にし、多くのことを学ばせていただきました。

そして、平成2年に美浦村で初めての女性教育委員になられた先生は、『学校に学校司書を』ということも提言されました。現在では、各学校に学校司書が置かれて、子どもたちの相談役となり、図書室は本好きの子どもたちの笑顔で溢れています。

私たちは、靖子先生が残された功績を忘れる事なく、前を向いて歩いていきたいと思っています。

私たちと一緒に活動しませんか?

共に輝くみほの会—美浦村女性行政推進協議会—では活動を共にできる会員を、男女問わず募集しています。どうぞお気軽にお声かけください。

■問合せ 企画財政課



みほ文芸

正調俚謡 日和吟社 字結び「晩・夏」(一字以上読み込むこと)

母が孫にと届いた浴衣今はひ孫が着て跳ねる

孫の浴衣の腰あげ下ろす日々の成長想う盆

紺地浴衣に薄紅ひけば風がちゃかして裾めくる

予選敗退三年生が枯れるまで泣く更衣室

浴衣姿の可愛い孫にマスク渡して盆供養

義母の手縫いの揃いの浴衣着ずに終るか盆踊り

祭りばやしに浴衣が映える盆の賑い今何処

揃い衣裳が今年も駄目かまつり中止の掲示板

旅の湯めぐり浴衣の君がわざとよろけた石畳

母がこぼすは嬉しい愚痴よ伸びて短かい子の浴衣

期待背負って注目浴びて見事応えた女子ソフト

うだる暑さにシャワーを浴びて冷えた麦茶を一気飲み

藍に朝顔白地に抜いた浴衣紅緒の夕涼み

下駄をカラコ祭り夜の揃い浴衣の親子連れ

粋に浴衣を着こなす美人そらすうなじは色っぽい

母を偲んで藍染浴衣天に届けと鳴らす下駄

旅の疲れを湯船に流し浴衣ひっかけ夕涼み

色っぽいねと言われたあの日藍の浴衣の夏花火

汗が目にしみ体を起こしや浴びるそよ風霞浦の湖

暑い盛りにシャワーを浴びて汗を流して熱心に

そっと窓開け湯を浴びながら闇に聞こえる虫の声

八月の俳句(題 当季雑詠)

燃ゆるごと空へ凌霄咲きのぼる

大空はありがたきかなあやめ咲く

ヒロシマもナガサキもはや遠き日か

スケボーの力溢れる真夏の子

少しずつ壊れ欠けてく老女の夏

青田波車窓ちらりと白き鳥

「朝顔が咲いた」と電話の弾む声

網膜に残る面影盆支度

冷蔵庫早く閉めてと語気強め

炎天や道路工夫の腰タオル

夏の雲戦の記録子等が読む

人住まぬ淋しく咲きし白桔梗

長谷川悦子

沼寄朋香

塚本夏雲

山崎笑子

田島草実

関根秀子

増尾青蓮

高橋一步

石戸律華

飯塚筑風

山岡亜子

伊藤葉子

酒川夢花

上野八千代

木村幸子

小蘭江久美

篠原美千代

門脇悠美

山崎泰弘

井戸賀録道

山岸錦洋

(五十音順)

青野安佐子

石毛恵美子

市川紀行

海道民子

木澤はしめ

小林美佐恵

高柳幸子

田島早苗

中島輝子

長田敏笑

増尾尚子

松本秀子